

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520312

研究課題名（和文） ハンガリー語における空間移動表現と動詞接頭辞の役割

研究課題名（英文） Space expressions and the role of verbal prefixes in Hungarian

研究代表者

早稲田 みか (WASEDA MIKA)

大阪大学・世界言語研究センター・教授

研究者番号：30219448

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：言語学、ハンガリー語、動詞接頭辞、空間移動表現

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、ハンガリー語において、主として空間移動表現で使用される「動詞接頭辞」と呼ばれる文法カテゴリーに属する要素の意味と機能を明確にすることにある。動詞接頭辞は、高度の多義的カテゴリーで、同じひとつの動詞接頭辞が持つさまざまな異なる意味は、もっとも基本的な意味である空間的用法からメトニミーやメタファーなどの意味拡張によってもたらされるものと考えられる。本研究では、空間移動表現から抽象的領域へ意味拡張が行われる過程において、動詞接頭辞がどのような役割を果たすのかを明らかにする。

2. 研究の進捗状況

ハンガリー語において空間移動表現がどのような言語手段によって実現されているのかを検討した結果、動詞以外には、動詞接頭辞、副詞、後置詞、格接尾辞が使用されること、動詞接頭辞は経路表現において大きな役割を果たしていることを確認した。

一般的に、移動の経路を動詞で表すか、

動詞の付随要素で表すかによって、前者は動詞枠付け言語、後者は付随要素枠付け言語と呼ばれているが、ハンガリー語は、この分類に従えば、付随要素枠付け言語に分類されることがわかった。

代表的な動詞接頭辞 (be, ki, fel, le, meg, el) の使用例を収集し、ある程度の意味記述を行った。ほとんどの動詞接頭辞が、移動の方向という基本的な意味のほかに、完了アスペクト機能を持っていることがわかった。

この完了アスペクト機能について、認知意味論の観点から分析を試みた。その結果、完了アスペクト機能は、移動表現における経路の終端焦点化によって説明できることがわかった。

動詞接頭辞がもつ完了アスペクト機能について文法化および構文変化の観点から考察した。

動詞接頭辞 ki を取り上げて、その意味構造を分析した。語彙概念構造 (LCS) を使って記述した結果、動詞接頭辞がつくことによって、基体動詞の語彙概念構造に変更が

加えられ、「外に存在するようになる」という移動の結果状態が付加されることがわかった。しかし、ki の持つ多義性については、語彙概念構造の違いによって説明することができないことも明らかになった。多義的な意味については、視点の移動や、イメージスキーマとメタファーやメトニミーによる意味拡張の観点から分析可能であるとの考えに基づき、ある程度の分析を行った。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

ほぼ計画どおりに進んでおり、今年度末までに一定の成果をまとめる目途がついている。

4. 今後の研究の推進方策

引き続き、代表的な動詞接頭辞 (be, ki, fel, le, meg, el) の使用例を収集し、できるだけ多くの事例の意味記述を行う。

動詞接頭辞がもつ完了アスペクト機能について文法化および構文変化の観点からさらに考察を深める。

動詞接頭辞 ki 以外の接頭辞についても、その意味構造を語彙概念構造(LCS)を使って記述し、それでは記述できない意味の違いについて、視点の移動や、イメージスキーマとメタファーやメトニミーによる意味拡張の観点から分析を試みる。

研究の総括を行い、報告書にまとめる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 原千晶、江口清子、早稲田みか「ハンガリ

一語動詞接頭辞 ki- の意味構造」、『ウラリカ』、15号、2009年(近刊)、査読無

② Waseda Mika “Mit lehet megvenni? A megigekötő használatáról pragmatikai szempontból”, *Nyelv, Nemzet, Identitás*, 295-300, 2007. Hungary, Debrecen University. 査読無

[学会発表] (計3件)

① 早稲田みか「ハンガリー語における動詞接頭辞の文法化」、類型論研究会、2008年11月12日、京都大学

② 原千晶、江口清子、早稲田みか「ハンガリー語動詞接頭辞 ki- の意味構造」、第35回ウラル学会、2008年7月5日、名古屋大学

③ Waseda Mika “Mit lehet megvenni? A megigekötő használatáról pragmatikai szempontból”, VI. Nemzetközi Hungarológiai Kongresszus Debrecen, 2006. Aug. 23-26. Hungary, Debrecen University.

[図書] (計1件)

① 早稲田みか「ハンガリー語」、梶茂樹、中島由美、林徹編『事典世界のことば141』、342-345、2009年、大修館書店、査読無